

## 仁賀保高生がデザイン、制作

# 非行防止ポスターで訴え

にかほ市の仁賀保高校情報メディア科の生徒が、非行防止や犯罪被害防止を呼び掛けるポスターを制作した。16日に由利本荘署員らと市内を回り、ポスターを手渡しして掲示を呼び掛けた。



ポスターの制作や掲示の依頼に当たった(左から)佐藤さん、阿部さん、佐々木さん、飯尾さん

## スーパーなど訪れ掲示依頼



にかほ市内のスーパーや学校などを回り、ポスターの掲示依頼も行った＝16日、同市象潟町のマックスバリュ武道島店

ポスターはA4判ほどのサイズで全3種類。情報メディア科3年の佐々木諒さん(18)と阿部茉結子さん(17)がデザインした。佐々木さんは虐待防止、阿部さんは万引とネットトラブル防止がテーマのポスターをそれぞれ手掛けた。

佐々木さんは「虐待を受けている子どもたちの抱えている孤独に寄り添えるよう、手を差し伸べるようなデザインにした」、阿部さんは「会員制交流サイト(SNS)を使っていると知らない人からメッセージが届くことがある。ネット上のトラブルに巻き込まれないよう、また少しでも万引の被害が減るよう」との思いを込めた」と話す。

6日から由利本荘、にかほ両市の公共施設などに配布。16日は佐々木さんと阿部さんのほか、同校ボランティア部2年の飯尾美友さん(17)と佐藤夏美さん(17)の計4人が、由利本荘署員や少年保護育成委員とにかほ市のスーパーや学校、体育館など8カ所を訪れてポスターを配った。

同署の担当者は「高校生が作ったポスターを多くの人に見てもらい、非行防止や犯罪被害防止について考えを巡らせてもらいたい」と話した。

(川村 巴)